

資料 9

事例問題

事例問題

肛門用薬

45歳 女性

時折排便時に肛門周囲が痛く、便器に出血が見られる(真っ赤な血)。1週間前に自己判断でプリザSを購入。しかし、あまり効かない。

仕事と育児で睡眠不足。すごくイライラする。祖父が直腸がんだったので自分は大丈夫かと心配している。

胃腸薬

50歳 男性

最近、ストレスでたばこやお酒の量が増えている。胃痛、吐き気、胃のもたれ、食欲不振がある。食後にも感じることはあるが空腹時の方が症状は強い。腹痛は我慢できる。ゲップが出そうで出なくてむかむかしたり気持ち悪い。

痛いので家にあったボルタレンをのみ、かえって悪化した。胃がんではないかと心配している。

皮膚疾患用薬(掻痒)

45歳 男性

最近身体が急に痒くなる。特に飲酒やお風呂上がりに痒い。強く掻き赤くなった。

「最近は大人になってもアトピーが発症する」とテレビ番組をみてから自分もそうなのかと心配している。

便秘薬

35歳 3児の母

便が固くてなかなかでない。ヒマシ油を購入希望。
市販の便秘薬(ビフィーナ便秘薬)では効果がなく、曾祖母が「便秘にはヒマシ油だ」というので来局。

再就職したばかりでストレスが多く、胃が痛く、薬局で市販薬(制酸剤)を勧められ服用していた(現在は痛みはない)。

風邪をひき、咳止め(エスエスブロン錠)も服用している。

片頭痛で市販の頭痛薬も服用中。

排便時、便器に血が付いていることもあり、過敏性腸症候群ではないかと心配している。 血圧高め。

資料 10

プレゼンテーション

事例検討

プレゼンテーション

肛門用薬

●事例

肛門用薬

45歳 女性

時折排便時に肛門周囲が痛く、便器に出血が見られる(真っ赤な血)。1週間前に自己判断でプリザSを購入。しかし、あまり効かない。

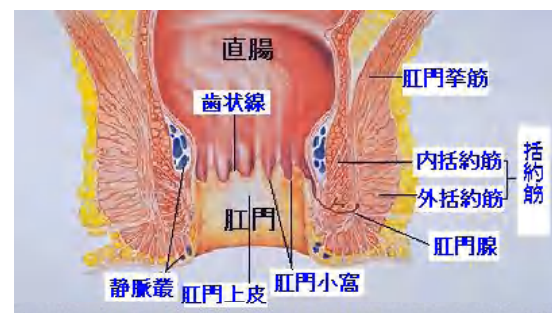
仕事と育児で睡眠不足。すごくイライラする。祖父が直腸がんだったので自分は大丈夫かと心配している。

肛門用薬について

1班

1

1, 肛門の構造



2

- **歯状線**(しじょうせん) 肛門縁(肛門上皮の出口)から約2cm奥にある肛門上皮と直腸粘膜の境界部分。
- **肛門**(こうもん) 痛みを感じる知覚神経が来ている為、ここにある病気は強い痛みを伴う。表面は皮膚に似た肛門上皮で覆われている為、丈夫で出血しにくい。
- **直腸**(ちよくちよう) 知覚神経が来ていない為、ここにある病気は、周囲を圧迫しない限り痛みを感じない。表面は粘膜で覆われている為、もろく出血しやすい。
- **肛門小窩**(こうもんしょうか) 歯状線の所に5~8ヶ所前後ある窪み。その奥に肛門線が開く。細菌が侵入して感染が生じると、肛門周囲膿瘍から痔瘻が発生する。
- **内括約筋**(ないかつやくきん) 直腸の壁を作っている筋肉が肛門の部分で厚くなったもので、自律神経支配のため意識によって動かすことができないが、意識しなくても肛門を閉じていくのもこの筋肉の役割である。
- **外括約筋**(がいかつやくきん) 脊椎神経支配の為、意識的にしめる事ができる強い筋肉。
- **静脈叢**(じょうみやくそう) 肛門周囲に、網の目のように存在する血管。この部分が瘤状の静脈瘤となったものが痔核である。

3

2, 痔疾の病態生理

種類

- **痔核**(しかく) いぼ痔
- **痔瘻**(じろう) 穴痔
- **裂肛**(れっこう) 切れ痔

痔核とは・・・

- 肛門と、直腸下端の周辺には網の目のような血管(静脈)が膨らんで、こぶ状になったもの(静脈瘤)が痔核の本体である。
- この静脈瘤から出血したり、静脈瘤内に血栓(血豆)を作って腫れるなどの症状が発生する。
- **内痔核**と**外痔核** 直腸下端の粘膜下にできたものを**内痔核**と、肛門(歯状線より外)の肛門上皮下にできたものを**外痔核**と言う。

4

痔核の分類	痔核の症状
<ul style="list-style-type: none"> 第1度⇒肛門の外に脱出しない。 第2度⇒排便時に脱出するが、排便後自然の元に戻る。 第3度⇒脱出後、手などで押し込まないと戻らない。 この状態を嵌頓痔核(かんとんじかく)という。 第4度⇒排便と無関係に常時脱出している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外痔核: 突然肛門の外に、強い痛みを感じるしこりが生じるが、出血することは稀である。ただし、血栓部分の皮膚が破れると、赤黒い血栓が溶けて少量の出血をおこし、血栓はしぼんで痛みも急速に治まる。 内痔核: 内痔核は痛みを感じるが、出血するのが特徴である。また、周囲の支持組織が弱くなって肛門外に脱出するようになったものを脱肛と言う。

5

痔瘻とは...	痔瘻の症状
<ul style="list-style-type: none"> 歯状線にある陥凹部(肛門小窩)から細菌が侵入、化膿し膿瘍(膿のたまり)を作る。この段階を肛門周囲膿瘍と呼ぶ。 痔瘻とは、たまっている膿が広がり、ついに皮膚を破って排膿し、その口がいつまでたっても塞がらず、肛門内とつながった管を形成したもの。 	<ul style="list-style-type: none"> 肛門周囲膿瘍の時期は、膿がたまるにつれて痛みがひどくなり、熱がでることもある。大部分の場合再発し痔瘻となる。 いつまでも膿が出続けたり、直ったと思ったら腫れてきて、繰り返し膿がでる。

6

裂肛とは...	裂肛の症状
<ul style="list-style-type: none"> 歯状線と肛門縁(肛門と殿部の境)の間の、肛門上皮にできた裂創をいう。 	<ul style="list-style-type: none"> 肛門上皮には知覚神経がきているため、強く痛みを感じる。 特に刺激が内括約筋に及び、けいれんを誘発すると、排便後数時間に及ぶ痛みが継続することもある。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">裂肛に特有な排便後痛</p>

7

3.痔疾になりやすい体質

- 便秘気味な人
→便秘をすることにより腸内に便が溜まり肛門を圧迫する。また排便時に必要以上にいきむことになり肛門を傷つけ、痔疾になりやすくなる。
- 下痢をする人
→勢いよく排泄されるため肛門を傷つける。
- 冷え性の人
→肛門部のうっ血を招くため。

8

痔疾になりやすい人(2)

- 飲酒・喫煙習慣のある人
→喫煙は血管収縮作用がありよくない。飲酒は動脈の血行はよくなるが静脈は悪くなる。その結果うっ血が起こる。
- 長時間、座って活動するような人
→肛門部がうっ血することによる
- 以上、肛門部が傷つくことが原因のものとうっ血が原因なものに分かれる

9

痔があると見落とし易い疾患

- 大腸癌
- 大腸ポリープ
- 潰瘍性大腸炎
- 肛門癌
- クローン病

これらは痔の症状である出血を伴うため、見落とし易い。

10

鑑別法

- 大腸内視鏡検査
→先端にカメラがついた細い管を肛門から挿入して腸の内部を確認する。信頼性が高く、ポリープが見つければその場で切除することができる。
- 注腸造影検査
→硫酸バリウムと空気を造影剤として、肛門から入れて大腸のX線写真を撮影する。大腸粘膜の細かな病変が分かるので、大腸疾患の早期発見や早期治療につながる。

11

4、薬剤副作用 痔と排便障害

- 痔：
これらの薬は副作用として重い消化性潰瘍または小腸、大腸からの吐血、下血、血便などの消化管出血が現れ、それに伴うショックがおこることがあります。これにより便秘になりそこから痔になる場合があります
ウナスチン オキミナス オプロニック カンファタニン キサイニン ケンラン コバソニン コパロキニン サンロキソ シラブルスリノフェン ツルメリン ノブフェン ビナプロフェン ボナベルト ポルタレン リンゲリーズ レトラック ロゼオール ロブ ロベニット ロルフエナミン
- 排便障害：
ピンクリスチン、レベトール、セイブル（植物アルカロイド）～便秘は自律神経障害の症状の一つであるため、神経に障害を与えやすい特性があるピンクリスチンなどでは便秘が起こりやすくなります。

12

5、肛門用薬の種類

漢方製剤

桃核承気湯、大黃牡丹皮湯、乙字湯、桂枝茯苓丸、補中益気湯、弓腸膠艾湯、槐角丸、當帰芍薬散

一般用薬

- ネリプロト坐剤・軟膏(吉草酸ジフルコルトロン・リドカイン)
- ボラギノールN坐剤・軟膏
(シコンエキス、アミノ安息香酸エチル、塩酸ジブカイン、塩酸ジフェンヒドラミン、セトリミド)
- ポステリザンF座薬(大腸菌死菌・ヒドロコルチゾン)
- ポラザG坐剤・軟膏(トリベノシド・リドカイン)
- サークネッテン(パラフレボン、センナ末、イオウ、酒石酸水素カリウム)
- プロクトセディル坐剤・軟膏
(ヒドロコルチゾン、硫酸フラジオマイシン、塩酸ジブカイン、エスクロシド)
- ヘモナーゼ(プロメライン・酢酸トコフェロール)
- エスベリベン酸(メリロートエキス、ルチン)
- ヘルミチンS坐剤(リドカイン、次没食子酸ビスマス、アミノ安息香酸エチル)
- ジオン注(硫酸アルミニウムカリウム、タンニン酸)
- ロートエキス・タンニン坐剤(ロートエキス、タンニン)

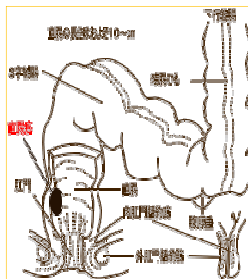
13

抗炎症：吉草酸ジフルコルトロン、シコンエキス、ヒドロコルチゾン、ツロメライン、メリロートエキス、ルチン
局所麻酔：リドカイン、塩酸ジブカイン
解熱鎮痛：アミノ安息香酸エチル
抗ヒスタミン：塩酸ジフェンヒドラミン
殺菌消毒：セトリミド、イオウ
止血：トリベノシド、パラフレボン、エスクロシド
瀉下作用：センナ末、酒石酸水素カリウム、硫酸アルミニウムカリウム
抗生物質：硫酸フラジオマイシン
創傷治癒促進作用：酢酸トコフェロール
収斂剤：次没食子酸ビスマス
整腸作用：タンニン、タンニン酸

14

参考 直腸癌の症状

- 鮮血便が特徴。
- 病巣(癌)による直腸狭窄のため、便の細りがある。鉛筆状の細い便。
- 強い腹痛。
- 排便後も残便感があるため、便意が何度も起こり規則正しい排便の習慣が乱れる。
- イレウス症状を示す事もある。



15

受診勧奨かOTC適応の結果を導く問診

- 便に血が混ざっていますか??
- 便の細りがありますか??
- 激しい腹痛や嘔吐がありますか??
- 腹部膨満感がありますか??

血便を認めた場合は自分の勝手な判断で動かず、直ちに外科、肛門科、胃腸科の医師に診てもらうべきである。

16

参考 プリザSについて

- プリザには、軟膏・座薬・注入軟膏がある。
- 女性向けにはプリザSハイというものも発売されている。
- プリザエースとプリザS両方とも、ボラギノールAと同じくステロイド剤が入っている。

17

参考 プリザSの適用と成分

きれ痔(さけ痔)・いぼ痔の痛み・はれ・出血・かゆみの緩和に適用。

- ヒドロコルチゾン酢酸エステル5mg 炎症、腫れを抑える
- リドカイン60mg 患部の痛み腫れを抑える
- ジフェンヒドラミン塩酸塩10mg 患部のかゆみを抑える
- L-メントール9mg 上と同じ
- アラントイン10mg 傷口の治りを早める
- トコフェロール酢酸エステル50mg 血管を強くして出血を抑える
- クロルヘキシジン塩酸塩5mg 細菌の感染をおさえ、傷口の悪化を防ぐ

18

7、OTC便秘薬で注意すべき 薬物相互作用

新エフレンK

- 炎症やはれを鎮める酢酸ヒドロコルチゾン、うっ血をとり、血液の循環を促進する酢酸トコフェロール、痛み、かゆみを止める塩酸ジブカインとジフェンヒドラミン、そのほか止血、殺菌剤などを配合
- 酢酸ヒドロコルチゾン・塩酸ジブカイン・塩酸クロルヘキシジン・塩酸ジフェンヒドラミン・酢酸トコフェロール・アルミニウム・クロルヒドロキシアラントイネート・酸化亜鉛・ハッカ油・ユーカリ油、添加物としてステアリン酸ソルビタン、ポリオキシエチレンソルビタンステアレート、無水ケイ酸、その他2成分を含有。
- 皮膚：発疹・発赤、かゆみ、はれ
- その他：刺激感、化膿、ショック

19

ヘロキスA坐薬

- 患部の急激な炎症を抑えるプレドニゾン酢酸エステルやすばやく痛みを抑え持続性のあるリドカイン、止血作用のあるdl-メチルエフェドリン塩酸塩、傷の治りを早めるアラントイン、殺菌消毒剤のクロルヘキシジン塩酸塩など5つの有効成分の働きにより、痔による痛み・出血・はれ・かゆみの症状にすぐれた効果あり
- プレドニゾン酢酸エステル・リドカイン・dl-メチルエフェドリン塩酸塩・クロルヘキシジン塩酸塩・アラントイン、添加物としてハードファット
- 皮膚：発疹・発赤、かゆみ、はれ
- その他：刺激感、化膿

痔疾内服治療剤 痔に光

- 門部の血行を高め、痔粘膜の充血除去・消炎・止血を助け、主にいぼ痔(痔核)の人に効果がある
- 生薬抽出エキス(サイコ・ショウマ・ボタンビ・トウニン・ブクリョウ・シャクヤク)、センナ茶・オウバク茶
- 皮ふ：発疹・発赤、かゆみ
- 消化器：食欲不振、悪心・嘔吐

20

アドバイスすること

- 適切な食生活を送ること
- 睡眠をしっかりとり
- 冷えに注意する

21

22

食生活について

- 摂取量を増やしたほうがいいもの
 - 食物繊維、ビタミンC,Eを摂る
 - 例)野菜、果物、豆類、海藻類、穀類
- 摂取を控えた方がいいもの
 - 肉類など脂肪分が多いもの
 - アルコール類
 - 消化管を刺激するもの
 - 例)辛いもの、コーヒー、アルコール、炭酸飲料

23

その他

- 体を冷やさないようにする
 - 体を温めることでうっ血を改善。入浴など。
 - また入浴は肛門部を清潔にすることで雑菌から患部を守ることに繋がる。
- 睡眠をしっかり取る
 - 睡眠をとることで疲労回復、ストレスの軽減。
 - また、体を横にすることでうっ血した血液を体に戻すことも期待できる。

24

参考 排便時のいきみと 血圧の関係

- 排便時に“いきむ”ことにより、まず腹圧がかかり血圧が引き上げられる。
- 少し“いきむ”だけでも、最大血圧が60~70mmHg以上は上がるといわれている。
- 脳の血管に強い圧力がかかり、**脳出血**などを起こす危険性が伴ってくる。
- 高血圧で降圧剤を服用していると、副作用として便秘を起し、中でも**降圧利尿剤(チアジド系)**は体内の水分排泄を促す作用があるので、水分不足から便が硬くなり、便秘を起しやすくなる。
- 日常から便秘に気をつけて、排便による“いきみ”を回避するよう便の硬さを調整しながら、よりよい排便を心がけることが大切である。

25

参考資料

- <http://www.2b.biglobe.ne.jp/~dr-ok/jikaku.html>
- <http://www.ulies.com/shoukaki1/tyokutyougan/newpage1.htm>
- http://www.teijin-pharma.co.jp/benpi/benpiqa/q2/q2_27.html

26

肛門用薬について

5班

1

肛門周辺の構造

歯状線

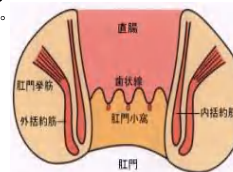
肛門の出口から約1.5cm奥にある直腸(粘膜)と肛門(皮膚)の境界部分で、歯状線より奥が直腸、手前が肛門。

肛門挙筋

肛門が脱出しないように引き上げている筋肉。

外括約筋

排便をする際に意識的に動かすことができる強い筋肉。意識的に肛門を閉じ便やガスが漏れないようにしている。



肛門

痛みを感じる知覚神経があるため、ここのできる痒は強い痛みを伴い、表面は皮膚に似た肛門上皮でおおわれている。

内括約筋

直腸の壁を作っている筋肉の下端にあり、自律神経のため自分で意識的に動かすことはできず、無意識に肛門を閉めている。

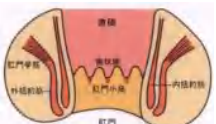
肛門小窩

歯状線の奥にある皮膚と粘膜のつなぎ目の約10個程の小さなくぼみ。バクテリアや細菌が侵入して感染が生じると、肛門周囲膿瘍から痔ろうが発生。

2

特徴

- 肛門周辺は、非常に複雑でデリケートなつくり
- 直腸の粘膜は痛覚がない→痔核(イボ痔)の内痔核に痛みがない
→伸縮性がある
- 肛門上皮は皮膚と同じように、痛みなどの感覚がある
→痔核(イボ痔)の外痔核や血栓性外痔核、かんとん痔核、裂肛(切れ痔、裂け痔)が激痛をともなう
→ほとんど**伸縮性がない**(切れ痔、裂け痔を発症)




3

②痔疾の病態生理(種類と症状)

大きく3種類に分けられる。



- 内痔核(はしり痔)・外痔核(いぼ痔)



- 痔の中でもっとも多いタイプ。
- おしりの血行が悪くなって、血管の一部がこぶ状になったもの。
- 初期は出血が起こる。歯状線より上(直腸)にできたものを内痔核、下(肛門)にできたものを外痔核と呼ぶ。

4

- **切れ痔**
 - 肛門の出口付近が切れて起こる。
 - 便秘で固くなった便が、肛門の粘膜を傷つけて起こることも多い。
 - 切れ痔を繰り返すと肛門に潰瘍、狭窄、ポリープなどができる可能性が高くなる。
- **痔瘻(じろう、穴痔)**
 - 肛門の歯状線にある肛門小窩というくぼみの中に便中の細菌が入り込んで感染、化膿し、その膿によって反対側に出口ができて、膿が漏れ出てしまう。
 - 手術でしか完治できない。

5

疾病になりやすい体質

いぼ痔(痔核)
肛門の周辺の毛細血管がうっ血することで起こる
→便秘の人、長時間座りっぱなしの人
下痢を起こしやすい人、お酒をよく飲む人
ストレスがたまっているひと
妊娠している人・出産時

切れ痔(裂孔)
肛門の出口付近が切れて起こる
→便秘の人、下痢を起こしやすい人、
香辛料をよく摂る人、

あな痔(痔瘻)
細菌が肛門小窩に入り込むことで感染し化膿して起こる
→軟便の人、下痢を起こしやすい人

6

痔があると見落とししやすい疾患

血便、出血がある場合
→痔、大腸癌、直腸炎など



下痢、腹痛、熱あり
⇒大腸炎(虚血性大腸炎、ばい菌によるもの(O-157や赤痢)、抗生物質による副作用によるもの)

下痢、腹痛、熱なし
⇒大腸癌、肛門癌

7

痔核・排便障害を誘発する薬剤

止瀉薬(下痢止め)	便秘薬
<ul style="list-style-type: none"> • ストツパ • ビオフェルミン • エクトール • 正露丸 • ピシヤット • ペルゼランゼット • 半夏瀉心湯エキス など 	<ul style="list-style-type: none"> • コーラック • 防風通聖散 • ビューラック • ラキサタンA • 鎮咳薬 • 鎮痙薬 • 抗癌剤 • 降圧剤 • カルシウム拮抗剤 • 抗うつ薬 • 向精神薬 など

8

痔核・排便障害を誘発する理由

・ 止瀉薬(下痢止め)の場合

これらの止瀉薬には、飲み過ぎやストレスなどによって腸管内で異常に増加してしまった水分を吸収する作用があるため、便の排泄を一時的に止めるだけでなく、太くて硬い便を形成させる働きも持っています。そのため、排便する際に強いいきまないとはいけなくなり痔になってしまうのです。また、下痢となることで、肛門部が不衛生となり痔核が形成されることもあります。

・ 便秘薬の場合

腸内の水分が減少しているため、太くて硬めの便が形成されやすくなってしまいます。そのため排泄する際に強いいきんだり、または座り続けることで血流が悪くなりうっ血が生じるようになるため痔核が形成されてしまうのです。

種類

1、座剤

- ・ 肛門に直接適用する固形の外用剤で、体温により溶けるか、軟化するか、又は分泌液で徐々に溶ける。
- ・ 痔核(いぼ痔)と裂肛(切れ痔)に使用。
- ・ 肛門内で溶けて粘膜を保護する作用や、血を止める止血作用、痛みを鎮める鎮痛作用がある。

2、軟膏

- ・ 刺激が少ない。
- ・ 使いやすさを考え、なめらかですべりのよい油脂性基剤を使用し、傷ついた患部を保護する。

10

3、液剤

- ・ 裂肛(切れ痔)・痔核(いぼ痔)の痛み・はれ・かゆみ・出血の緩和及び消毒に用いられる。

4、内服薬

- ・ 痔核(いぼ痔)、裂肛(切れ痔)の原因となる直腸肛門部の血液循環障害を改善する。
- ・ 炎症をおさえ、痔核(いぼ痔)、裂肛(切れ痔)による痛み・出血・はれ・かゆみなどの症状を改善する。
- ・ 生薬エキスが配合されている。

11

肛門用薬の成分(例:ボラギノール)

リドカイン	局所の痛み、かゆみを鎮める。
グリチルレチン酸	炎症を和らげる。
アラントイン	傷の治りを助け、組織を修復する。
酢酸トコフェロール	末梢の血液循環を良くし、うっ血の改善を助ける。

12

漢方薬で痔を治す

- 胃熱: 食生活の不摂生をしている人
→ **平胃散**と**三黄瀉心湯**を併用すると効果的
- 肝経湿熱: ストレスの溜まりやすい肝鬱タイプの人
→ **竜胆瀉肝湯**や**乙字湯**が有効

13

現代人の痔疾を改善する漢方薬の構成する生薬とその働き

柴胡	肝臓の炎症を除く
当帰・牡丹皮	門脈の鬱血を除く
升麻	血管で起こっている炎症を抑える
甘草	弱った心臓の働きを盛んにする
黄芩	消炎、利尿作用
大黄	便の状態を整える

14

直腸がん と 切れ痔の相違点

直腸がん

- 特異的な症状がない
- 痔ろうからなる場合がある
- 食欲不振
- 嘔吐
- 腹部膨満

腸閉塞

主な症状

- 1 出血(血便)、潜血反応+
- 2 残便感
- 3 下痢、便秘を繰り返す
- 4 便が細い
- 5 下腹部痛

切れ痔(裂肛)

- 排便時または排便後の鋭い痛み
- 出血が見られる(鮮血)
- 肛門潰瘍※による肛門の狭窄

※ 肛門潰瘍

出血を繰り返すことで、傷が深くなり硬くなってしまったもの。肛門潰瘍が形成されることで以前よりも裂けやすくなってしまふ。

プリザSハイ軟膏を推奨する理由

プリザS

- ヒドロコルチゾン酢酸エステル(5mg)
- 患部の出血・炎症を抑える
- トコフェロール酢酸エステル(50mg)
- 血管を強くし、出血を防ぐ



プリザSハイ軟膏

- ヒドロコルチゾン酢酸エステル(0.5g)
- 塩酸テトラヒドロゾリン(50mg):血管収縮作用
- 患部の出血・炎症を抑える
- トコフェロール酢酸エステル(3g)
- 血管を強くし、出血を防ぐ



16

特徴

- プリザS
→坐剤なので肛門内の痔に直接効き、いぼ痔など内痔核に最も効果がある
- プリザSハイ軟膏
→軟膏なので、肛門の出口近くにできた痔核(いぼ痔)や裂肛(切れ痔)など、直接患部に薬を塗ることが出来る痔に効果があります。
→プリザS軟膏やプリザエース軟膏でもよいが、女性用に下着に色が付かないようなものになっている

17

プリザSハイ軟膏の副作用

○皮膚

発疹・発赤、かゆみ、はれ

○その他

刺激感、化膿

※プリザSではこの他に、

ショック(アナフィラキシー)

使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさが現れる。

18

生活習慣の観点からアドバイスすべきこと



- 食物繊維や水分を多く取り、便秘の解消・予防に努めること。また、刺激物やお酒を控えること。



- 定期的な運動をして、ストレス発散や腸の運動を促進させること。



- 長時間座りっぱなしなど同じ姿勢を長時間保つのを避けること。



- 肛門を清潔に保ち、血行を良くするために湯舟に入り、体を温めること。

19

事例検討

プレゼンテーション

胃腸薬

●事例

胃腸薬

50歳 男性

最近、ストレスでたばこやお酒の量が増えている。胃痛、吐き気、胃のもたれ、食欲不振がある。食後にも感じることはあるが空腹時の方が症状は強い。腹痛は我慢できる。ゲップが出そうで出なくてむかむかしたり気持ち悪い。

痛いので家にあったボルタレンをのみ、かえって悪化した。胃がんではないかと心配している。

胃腸薬について

2班

1

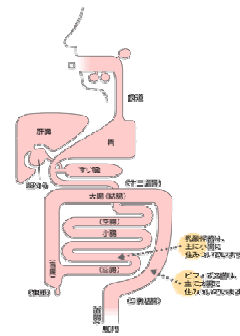
消化器の構造

胃
胃液を分泌。食物の消化の前段階を行い、また、外来細菌の殺菌もします。

すい臓
消化液のすい液をつくり分泌するほか血糖をコントロールするホルモンを分泌します。

十二指腸
肝臓からの胆汁、すい臓からのすい液などの消化液がここに分泌され、食物を消化し、食物中の雑菌の殺菌をします。

小腸
食物を消化し、栄養素を吸収します。



肝臓
小腸で吸収された栄養素を、全身へ送り出したり、一時貯蔵したりします。また、胆汁をつくり、さらに、人体にとって有害な物質の解毒作用も行います。

大腸
主に水分吸収が行われます。残りの食物のカスは糞便として体外へ排泄されます。

2

消化器とは？

消化器(しょうかき)とは、多細胞生物、特に動物において、食物の摂取、消化、消化された食物からの栄養素の吸収、排泄、および、それらを行うための運搬、といった働きを担う器官群のこと。また、それらの器官をまとめて、消化器系(しょうかきけい)という器官系として扱う。

3

機能

消化器系は、大きく2つに分けられる。

消化管 - 食物を消化しながら運搬する管

消化腺 - 消化を助ける様々な分泌物を合成、分泌する腺

消化管は、動物の体内に存在するが、そこには通常、食物の入口(口など)と出口(肛門など)がある。食物は入口から取り込み(摂取)、管の内側を通る間に、消化され、必要な栄養素が管の壁を通して吸収された後、残ったものが便、糞などとして出口から排泄される。この管の内側は、体の外側(外界)とつながっている。このことから、消化管の内側は体内ではなく、体外であるといえる。したがって、消化管の壁は、皮膚などと同様に、体の内側と外側を分ける境目の働きをも兼ね備える。また、主に消化酵素などを含む分泌液を消化管内に放出する消化腺からは、消化管の内側に流れ込む管を通して分泌液が分泌されるが、これは体外へそれらを放出すると考えるので、外分泌腺として分類される。

4

胃痛の分類

- ストレス: 過剰な胃酸分泌など。
- 飲食: 生ものなどで冷える、暴飲暴食など。
- 胃腸虚弱: 先天的な胃の虚弱、老化、慢性病など。
- 血液の滞り: ストレスや冷えなどによって。

5

分類の主な症状1

ストレス: 胃部が膨満し、つっぱるように痛む、また痛みが両脇へ連なる。イライラ、抑鬱感、ため息、げっぷなど。

飲食

冷えによるもの: 突然激しい胃痛がおこり、温めると軽減する。

暴飲暴食: 胃酸過多・胃運動亢進により、胃痛。

6

症状2

胃腸虚弱: シクシク痛く、空腹時に痛みが強くなり、食べると楽になる。吐き気、手足の冷え、軟便気味など。

血液の滞り: 固定性で刺すような痛みで、夜に増悪する。

食事をすると治まる場合は、胃酸過多が原因の可能性がある。

7

急性胃炎

- 食べすぎ飲みすぎやストレス、ウイルスによる感染、食中毒、アレルギーなどが原因で胃の粘膜がただれ、みぞおちが突然キリキリと痛むことがあります。吐き気や下痢をとともうこともあり、ひどい場合は嘔吐や吐血、下血を起こすこともあります。多くの場合、安静にしていれば2~3日で治まります。

8

慢性胃炎

- 主にピロリ菌、慢性的なストレスや食べすぎ飲みすぎで起こると考えられています。胃の粘膜が弱まり、炎症が繰り返されて治りにくくなっている状態です。突然胃痛や吐き気が起こり、多くは胃もたれや胃痛、胸やけ、膨満感、吐き気、げっぷなどの症状が慢性的に繰り返され、胃潰瘍に進行することもあります。

9

胃潰瘍

- 慢性胃炎を繰り返し、胃の粘膜や胃壁が欠損した状態で、ときには貫通することもあります。これにはピロリ菌と消化作用を持つ胃酸・消化酵素が関わっています。特徴的な症状は、みぞおち周辺のズキズキとした重苦しい痛みです。胃潰瘍は胃に入った食べ物が潰瘍を刺激して痛むので、食事中から食後の痛みが多くなります。その他、胃もたれや胸やけをとともないます。

10

誘発する薬物のリスト

「アモキシサン」「エクセグラン」「ケルロング」「シグマート」「ゾビラックス」「ゼスラン」「セルテクト」「ダントリウム」「ドラール」「トリルダン」「ニフラン」「ハルナール」「フェルデン」「フルイトラン」「PL顆粒」「プレドニン」「プロノン」「ボルタレ」「ポンターール」「ユリーフ」「リーゼ」「リンラキサー」「ロンゲス」「ワンアルファ」

11

ケルロング

一般名: 塩酸ベタキソロール
 効能・用途: 狭心症、本態性高血圧
 禁忌: 高度の頻脈、代謝性アシドーシス、妊婦など
 副作用: 悪夢を見る、胃痛、下痢、嘔吐など

12

PL顆粒

解熱鎮痛薬

1. サリチルアミド
2. アセトアミノフェン
3. 無水カフェイン
4. メチレンジサリチル酸

効能・用途: 鼻汁、頭痛、発熱など

禁忌: 昏睡状態の者、消化性潰瘍、緑内障

副作用: アナフィラキシー様症状、胃痛

13

ワンアルファ

ビタミンD(人工的に活性化させたもの)

一般名: アルファカルシドール

効能・用途: 骨粗鬆症、慢性腎不全、くる病

相互作用: ジギタリス製剤との併用で高カルシウム血症

副作用: 胃痛、イライラ感、悪心、口渇など

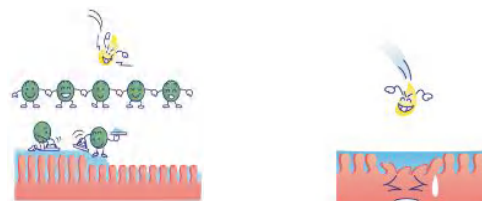
14

- 粘膜修復・制酸剤: 荒れた粘膜を修復し、胃酸を中和する
- 健胃剤: 胃の働きを高める
- 消化剤: 消化を助ける
- 鎮痛鎮痙剤: 胃痛を抑える
- H₂ブロッカー、PPI、副交感神経遮断薬: 胃酸の分泌を抑える
- 総合胃腸薬: さまざまな症状に対応する

15

粘膜修復・制酸剤

- 荒れた粘膜を修復し、胃酸を中和する



16

健胃剤、消化剤

- ・胃の働きを高める／消化を助ける



17

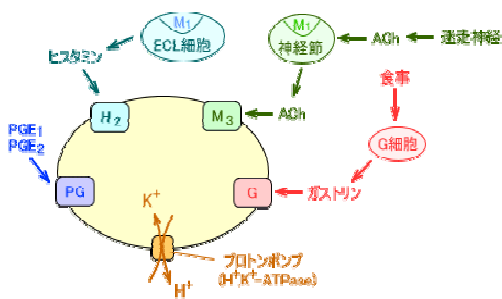
鎮痛鎮痙剤・総合胃腸薬

- ・胃痛を抑える／さまざまな症状に対応



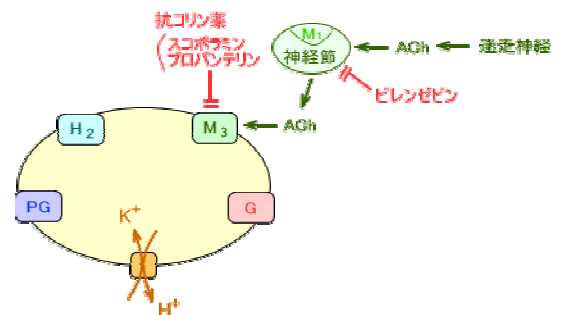
18

胃酸分泌機構



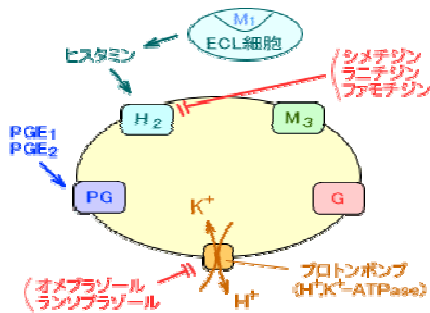
19

ムスカリン受容体遮断薬



20

H₂受容体遮断薬、PPI



21

確認すべき症状の問診

- ・黒色の便ができるか。
- ・体重が減少し始めてるか。
- ・げっぷが頻繁にできるか。
- ・貧血の症状があるか。

これらの症状がない場合は主症状と合わせて、胃癌ではなく、慢性胃炎だと考えられる。

22

胃腸鎮痛鎮痙薬

- 胃腸鎮痛鎮痙薬に配合されている成分は、胃腸以外に対する作用も示すものがほとんどであり、複数の胃腸鎮痛鎮痙薬が併用された場合、泌尿器系や循環器系、精神神経系などに対する作用(副作用)が現れやすくなるため、胃腸鎮痛鎮痙薬を使用している間は、他の胃腸鎮痛鎮痙薬の使用を避ける。
例)ガスター10など

23

抗コリン成分の重複

- 抗コリン成分は胃腸鎮痛鎮痙薬以外の医薬品(かぜ薬、乗物酔い防止薬、鼻炎用内服薬等)にも配合されている場合があり、また、一部の抗ヒスタミン成分のように抗コリン作用を併せ持つものが配合されている場合(かぜ薬、睡眠改善薬、乗物酔い防止薬、鎮咳去痰たん薬、アレルギー用薬等)もある。

24

制酸薬

- 炭酸水素ナトリウム(重曹)
胃酸を中和する制酸剤として広く用いられているが、胃酸と反応して
 $\text{NaHCO}_3 + \text{HCl} \rightarrow \text{NaCl} + \text{H}_2\text{O} + \text{CO}_2$
のように食塩を生成してしまうので、食塩制限されている患者(高血圧など)には注意
- メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ケイ酸アルミニウム(制酸剤)
長期内服による高マグネシウム血症(吐き気、意識障害など)や高アルミニウム血症(透析患者は特に注意!)に注意
アルミニウムは抗生物質の吸収阻害作用があるため併用には注意
- 制酸薬の多くは、アルミニウム、マグネシウム、カルシウムを含んでいるので、塩酸テトラサイクリン、塩酸オキシテトラサイクリンなどのテトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害するので注意が必要

25

H2-ブロッカーとPPI

- H2ブロッカーのシメチジンは併用薬の分解を遅らせ、テオフィリン、カフェインなどの血中濃度を上昇させ、嘔吐、頭痛、頻脈などが発現しやすくなる
- プロトンポンプインヒビターは、キサンチン系薬剤と併用することにより、併用薬剤の作用を減弱させる。プロトンポンプインヒビターは、アルミニウムやマグネシウムを含む制酸薬と併用することで、プロトンポンプインヒビターの吸収が阻害され、作用が減弱する。

26

このOTCを選んだ理由

複数の胃腸薬を併用すると相互作用があるため、一つで複数の症状を改善できる複合胃腸薬であるキャベ2コーワを選択した。

27

日常生活から考えられる原因

ストレスによる自律神経の乱れ

- ストレスを受け続けると胃や十二指腸の働きをコントロールしている自律神経が乱れて、胃酸が過剰に分泌され、多すぎる胃酸が胃の粘膜を傷つけ胃痛を引き起こします。

食べ過ぎ飲みすぎ、刺激の強い食べ物やアルコール

- 暴飲暴食をしたり、にんにく、唐辛子などの刺激の強い食べ物や濃度の高いアルコールを過剰にとることで、胃痛が起こることがあります。また習慣性のアルコールやタバコ、香辛料、果汁、炭酸飲料も胃酸の分泌を促進し、胃の粘膜に炎症を起こし、胃痛の原因になります。

28

日常生活から考えられる原因

たばこ

・タバコは血管を収縮させ、血液の流れを悪くするので、胃を酸から守っている粘液をつくる細胞に血液が少なくなり、胃の防御機能が低下します。また、胃酸の分泌も減少し、消化活動も低下するので、食後の一服は胃にとって禁物です。その他、胃に対する刺激が強くなることで起きます。

お酒

・「食前酒」という言葉を見てもわかるように、食事の前に飲む少量のお酒は胃酸の分泌を促し、食欲を誘う働きがあります。しかし、大量のお酒を飲むと胃が強く刺激されて、胃酸と胃粘液のバランスが崩れ、胃粘膜が荒れる原因となります。同時に、大量のお酒は胃の運動機能も低下させてしまうので、健康な胃を保つ3つの要素の全てに影響を与えることになります。特に胃がからっぽの空腹状態ではアルコールが直接胃粘膜に触れ、刺激を強く与えることになるので、胃粘膜は大きなダメージを受けてしまいます。

29

予防方法

呼吸で自律神経のバランスを整える

・自律神経のバランスを整える呼吸法でリラックスして、ストレスを遠ざける。おへその下に意識を集中させて、お腹に空気を入れる感覚でゆっくりと鼻から息を吸います。空気がお腹に入りきったら数秒息を止め、おへその下に力を入れたまま鼻から息を吐きます。これを1日に数回繰り返す。

規則正しく食事を取る

・不規則な時間に食事をとることは胃に負担がかかりますから、規則正しい時間に食事をするようにする。食事の際は、消化の悪い脂っこいものばかりとすぎないように注意し、腹八分目を心がける。また胃酸を過剰に分泌し、胃の粘膜を痛める強いアルコールやタバコはなるべく控える。

30

予防法

食後に休憩をとる

・食べ物を消化するためには消化器への多くの血液が必要です。食後すぐに仕事をしたり、外出したり、お風呂に入るなど体を動かしてしまうと、消化に必要な血液が手足に流れてしまいます。食後30分はゆっくりと休む習慣をつける。

ストレスはまめに解消する

・胃はストレスに敏感な器官です。スポーツ、音楽鑑賞、ゆったりとした入浴、おしゃべり、買い物など、自分に合った気分転換方法を見つけて、日頃から上手にストレスを解消しましょう。

31

胃腸薬

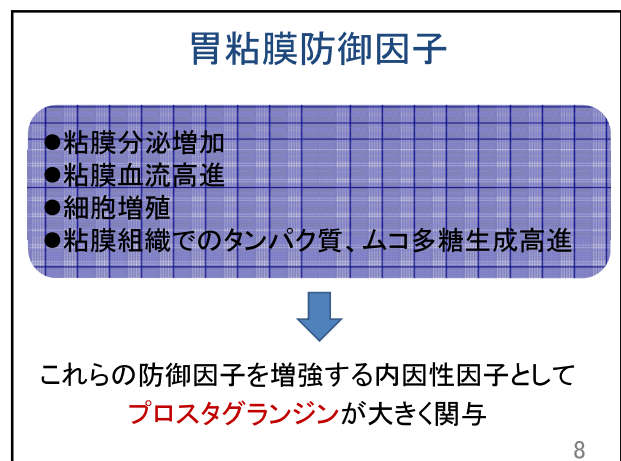
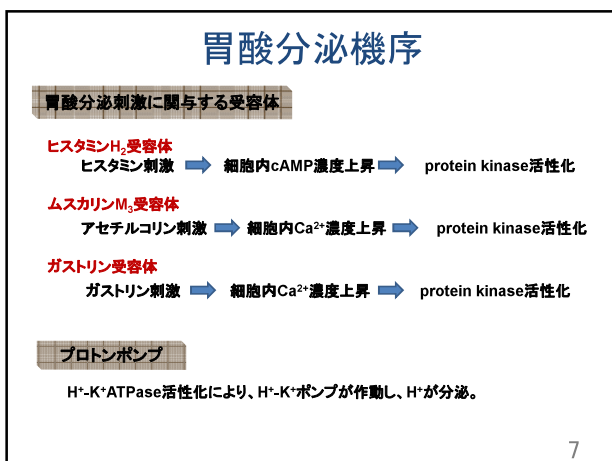
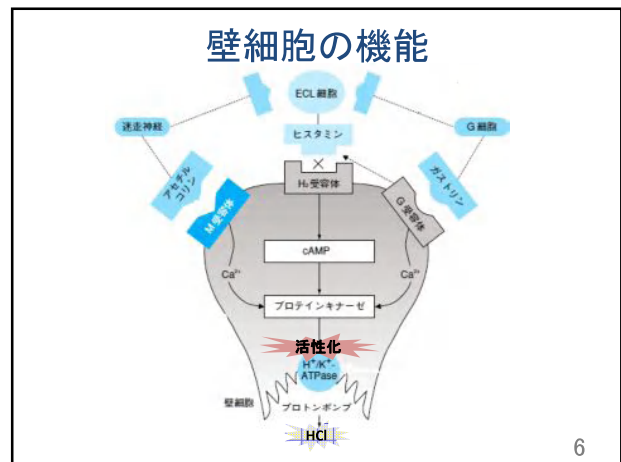
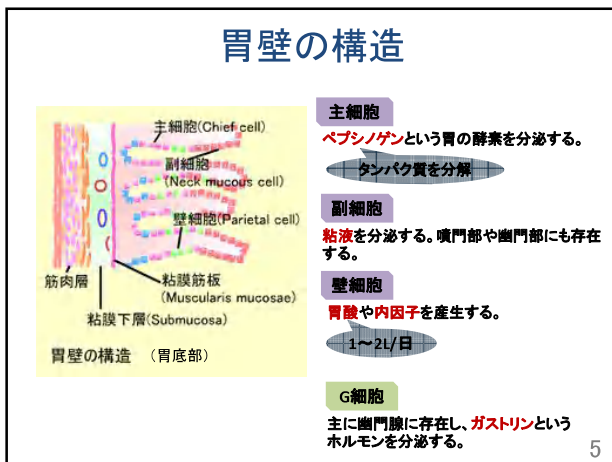
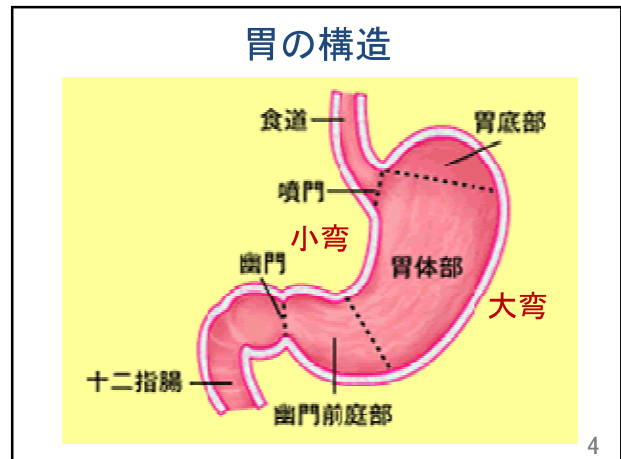
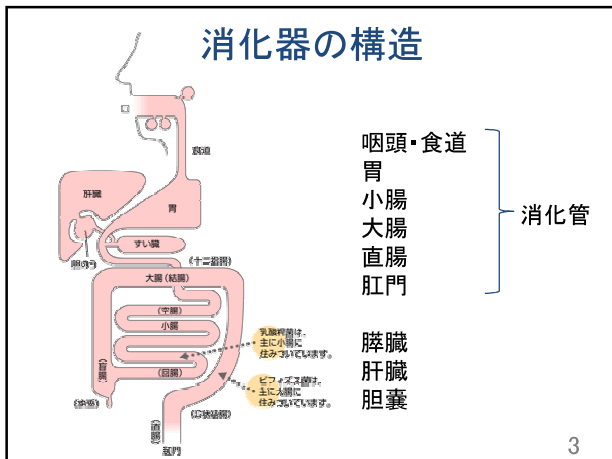
6班

1

1. 消化器系の機能形態の仕組み



2



胃粘膜防御因子(2)

プロスタグランジン

- 1) **胃酸分泌抑制作用**(壁細胞に対する直接作用)
- 2) 粘液産生・分泌亢進作用・細胞膜安定化作用・ HCO_3^- 分泌作用
・血流増加作用
- 3) **細胞保護作用**(cytoprotection)

9

攻撃因子と防御因子

通常、

- ・**攻撃因子**(胃には胃酸やペプシンなど)
- ・**防御機構**(粘液、粘膜血流)

バランスが保たれ、
正常な状態を維持している。

このバランスが崩れると・・・

胃酸の化学的侵襲力とペプシンの
消化力によって粘膜の自己消化が
起こり**潰瘍**が発生する。



10

2. 胃痛の分類とその主な症状



11

胃痛の原因となるもの

- ・ ストレス
- ・ 薬剤(NSAIDs、ステロイド、抗生物質など)
- ・ 飲食物(アルコール、香辛料など)
- ・ 感染(細菌、ウイルス、アニサキスなど)
- ・ 虚血(糖尿病、心疾患、血管病変など)



12

3. 胃痛を伴う疾患



13

胃痛を伴う疾患 1

- ・ 発作的なみぞおち・右上腹部の痛み
- ・ 寒気・ふるえ
- ・ 吐き気
- ・ 発熱
- ・ 黄疸
- ・ 40°C近い発熱。
- ・ 右肩・右背部に放散痛

急性胆のう炎の可能性

- ・ 突然の痛み
- ・ 激しく我慢できない腹部の痛み
- ・ みぞおちから右上腹部
- ・ 寒気、ふるえ
- ・ 黄色い液を吐く
- ・ 黄疸
- ・ 白い便
- ・ 40°C近い発熱、
- ・ 右上腹部のはれ

胆石症の可能性

14

胃痛を伴う疾患2

- ・上腹部(特にみぞおち周辺)の突然の痛み
- ・背部痛
- ・発熱
- ・吐き気
- ・嘔吐
- ・黄疸(おうだん)が見られることもある

急性すい炎の可能性

- ・上腹痛(夜間・空腹時)
- ・胸やけ
- ・吐き気
- ・嘔吐
- ・吐血

胃潰瘍の可能性

15

胃痛を伴う疾患3

- ・激しいみぞおち痛(夜間・空腹時)
- ・胸やけ
- ・黒色のタールのような便

十二指腸潰瘍の可能性

- ・胃の不快感食後の膨満
- ・食欲不振、胸やけ、もたれ、むかつき急な胃の不調
- ・みぞおちの圧迫感・痛み
- ・吐き気
- ・嘔吐

胃炎の可能性

16

胃痛を伴う疾患4

- ・漫然と続く胃の不快感
- ・食欲不振
- ・吐き気が続く
- ・胸のもたれ
- ・黒色の便が出る
- ・体重が減少し始める
- ・貧血
- ・げっぷが頻繁に出る

胃がんの可能性

胃がんに限らず胃炎や胃潰瘍などのときの症状でもある

17

4. 胃痛を誘発する薬物



18

胃痛を誘発する薬物

NSAIDs
副腎皮質ステロイド剤
強心剤のジギタリス
非ピリン系鎮痛剤の一部
抗生物質
Etc.



胃粘膜のPGの合成も阻害してしまうため

胃炎の副作用を伴いやすいものなので注意が必要

19

5. 胃腸薬の分類



20

胃腸薬の分類

攻撃因子抑制薬

- ・制酸薬
- ・抗コリン薬
- ・H₂受容体遮断薬
- ・プロトンポンプ阻害薬
- ・抗ガストリン薬

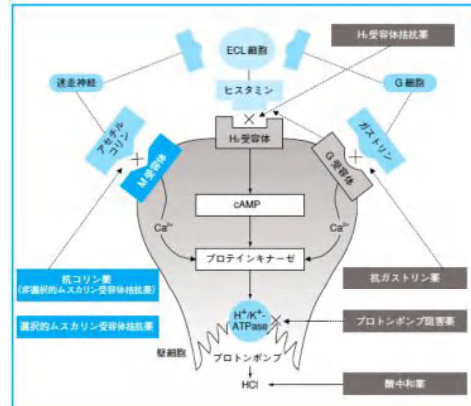
防御因子増強薬

- ・粘膜修復・粘膜保護薬
- ・プロスタグランジン製剤



21

攻撃因子抑制薬



22

症例



50歳男性。
最近、ストレスでたばこやお酒の量が増えている。
胃痛、吐き気、胃のもたれ、食欲不振がある。食後にも感じることはあるが空腹時の方が症状は強い。腹痛は我慢できる。ゲップが出そうで出なくてむかむかしたり気持ち悪い。痛いので家にあったボルタレンを飲んだ。かえって悪化した。胃がんではないかと心配している。

23

ボルタレン

胃痛のために鎮痛効果のあるボルタレンを服用



副作用として、胃痛、消化性潰瘍が悪化
アルコールは副作用を増強

(4) 初発胃痛、悪化胃痛、すでに胃痛があること、胃痛の症状を伴う横紋筋融解症がおこることがある。多量のアルコールは副作用を出やすくする。



24

症状別の薬剤選択

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ・ 胸やけ、むかつき、胃部不快感 | 制酸成分 |
| ・ 胃もたれ、胃部膨満感、消化不良、食欲不振 | 健胃成分 |
| ・ 食べ過ぎ、消化不良、食欲不振 | 消化成分 |
| ・ 胃の痛み、胸やけ | 胃粘膜保護成分 |
| ・ 胃の痛み | 鎮痛鎮痙成分 |
| ・ 胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき | H ₂ ブロッカー |

この患者は、ストレスなどで胃酸の分泌が過剰になり、さらにボルタレンを服用したことにより、副作用が増強したと考えられる

25

H₂ブロッカー



使用禁忌

15歳未満の小児及び80歳以上の高齢者は服用してはならない。

また妊婦または妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦は服用してはいけない。

(母乳に移行することが報告されているため)

26

7. 注意すべき薬物相互作用



27

	パロシロン H2ペスト	アパロンZ	ガスター10	ニザチジン	抗コリン剤	Al, Mg, Ca 含有製剤	甘草
気管支拡張剤	×						
血液凝固阻 止剤	×						
抗てんかん 薬	×						
ベンゾジア ゼピン系薬 剤	×						
三環系抗う つ剤	×				×		
狭心症・高 血圧治療剤	×						
不整脈治療 剤	×						
マクロライド 系抗生物質	×						
駆虫剤	×						
テトラサイク リン系抗生 物質	×	×				×	

28

	シメチジン	ラニチジン 塩酸塩	ファモチジ ン	ニザチジン	抗コリン剤	Al, Mg, Ca 含有製剤	甘草
ニューキノロ ン系抗菌剤	×	×				×	
アゾール系 抗菌剤	×	×	×				
抗精神病薬					×		
抗パーキン ソン病剤					×		
抗ヒスタミン 剤					×		
ジゴキシン					×		
利尿剤							×
ゲフィチニブ、 フルリフロキ サン、 アタザナピ ル				×			

29

8. 注意すべき副作用



30

重篤な副作用

- ・ ショック(アナフィラキシー)
- ・ 皮膚粘膜眼症候群 (SJS)・中毒性表皮壊死症 (TEN)
- ・ 肝機能障害
- ・ 腎機能障害
- ・ 血液障害
- ・ 偽アルドステロン症
- ・ 横紋筋融解症

◎H₂ブロッカー含有製剤はまれに眠気、めまい、混乱感を生じることがあるので、自動車又は機械の運転をしない。

31

9. 相談者にアドバイスすべきこと



32

アドバイスすべきこと

- お酒、タバコはなるべく控えるようにする
- 胃痛がしたときはボルタレン、バファリンなどのPG合成阻害作用のある解熱性鎮痛薬は使わないようにする
- コーヒー、紅茶などのカフェインが多く入っているものや、辛いものなど胃に負担のかかるような食べ物は食べないようにする

33

おわり



34

事例検討

プレゼンテーション

皮膚疾患用薬

● 事例

皮膚疾患用薬(掻痒)

45歳 男性

最近身体が急に痒くなる。特に飲酒やお風呂上がりに痒い。強く掻き赤くなった。

「最近は大人になってもアトピーが発症する」というテレビ番組をみながら自分もそうなのかと心配している。

皮膚疾患用薬

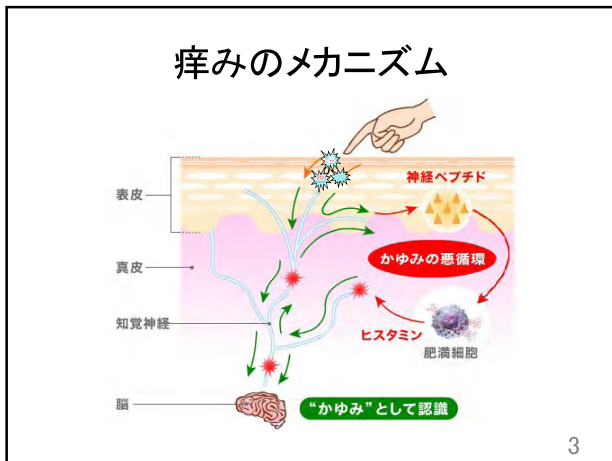
3班

1

痒みとは

- 痒みとは掻くという反射運動を引き起こす感覚のこと
- 痒みが発生するのは皮膚や目の結膜、鼻の粘膜におこりやすい
- 痒みがあると睡眠のさまたげになったりイライラしたりと精神的にストレスがたまったりする

2



痒みの分類

表1 かゆみの分類 (文献4, 5より引用・改変)

分類	主なメディエータ	疾患	主な治療
皮膚疾患に伴う痒痒 (末梢性痒痒)	ヒスタミン サイトカイン	アトピー性皮膚炎 蕁麻疹 接触性皮膚炎	抗ヒスタミン薬 抗炎症薬 ステロイド
全身性疾患に伴う痒痒 (中枢性痒痒)	内因性オピオイド	慢性腎臓病 肝硬変 破壊外傷, くも膜下 腔オピオイド投与	ナロキソン κ -オピオイド作動薬
神経障害性痒痒	サブスタンスP	帯状疱疹後痒痒 多発性硬化症 脳血管障害	カプサイシン ガバペンチン
心因性痒痒	セロトニン ノルアドレナリン	鬱生症や妄想 精神的過剰行動 うつ病, ストレス	抗うつ薬, 抗不安薬

4

痒みを伴う疾患

- 痒みを伴う皮膚疾患は非常に多く知られている

湿疹・皮膚炎
(アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎など)
じんましん
虫刺症
痒疹
皮脂欠乏性皮膚炎
多形滲出性紅斑

5

アトピー性皮膚炎

症状

- かゆみの激しい慢性の皮膚炎で、**特定の部位に繰り返し病変を生じる**
- 乳幼児に多くみられるが、近年は成人の患者が増える傾向にある。

6

アトピー性皮膚炎

原因

- 遺伝的に**アトピー体質**をもっている人はアレルギーを起こしやすく、**皮膚が乾燥しやすい**という特徴がある

7

じんましん

症状

- からだの一部、あるいは全体に、突然強い**かゆみ**を伴う紅斑や盛り上がった膨疹がたくさんでき**数時間から1日程度で出没を繰り返す**
- 重症の場合は、気管支や腸の粘膜にまで症状が拡がり、呼吸困難や下痢、腹痛を伴うこともある

8

じんましん

原因

- 食物や薬剤の摂取、寒冷や温熱といった物理的刺激などが原因となって、皮膚組織内に存在する肥満細胞(マスト細胞)からかゆみを起こすヒスタミンという物質が分泌されるために起こる
- 疲労や精神的ストレスなどの関与も指摘されている

9



痒みを誘発する薬物

(1)	点眼薬	塩化ベンザルコニウム
(2)	消毒薬	塩化ベンザルコニウム、ポビドンヨード、アクリノール、チメロサール、グルコン酸クロルヘキシジン
(3)	殺菌・防腐・洗淨剤	ホルムアルデヒド
(4)	医薬品	ホルムアルデヒド、ビャクダン油、パラベン類
(5)	シップ薬	ペパーミント油



10

痒み止めの分類

- 痒み止めには、軟膏(塗る)タイプのもものと飲み薬(服用)タイプのもがある。
- 軽度の湿疹であれば市販の軟膏でも十分効果がある。

11

痒み止めの分類

- かゆみを抑える成分
 - ◇抗ヒスタミン薬
マレイン酸クロルフェニラミン、ジフェンヒドラミン 他
 - ◇局所麻酔/局所刺激成分(かゆみを感じにくくする)
アミノ安息香酸エチル、ジブカイン、リドカイン/アンモニア 他
 - ◇その他
クロタミン

12

痒み止めの分類

- 炎症を抑える成分
 - ◇副腎皮質ホルモン、ステロイド剤(炎症、免疫を抑えるなど)
ヒドロコルチゾン、デキサメタゾン、プレドニゾロン 他
 - ◇非ステロイド系消炎鎮痛薬(ステロイド薬ではないが、炎症を抑える)
ブフェキサマク、ウフェナマート
 - ◇その他
グリチルリチン酸ジカリウム、グリチルレチン酸

13

痒み止めの分類

- その他の成分
 - ◇抗菌作用のある成分(ブドウ球菌など)
スルファジン
 - ◇角質化を抑える成分
尿素、グリセリン、水酸化カリウム
 - ◇血行を良くする成分
トコフェロール(ビタミンEのことです)

14

今回の症例

- 45歳 男性
- 最近身体が急に痒くなる。特に飲酒やお風呂上りに痒い。強く掻き赤くなった。
- 「最近は大人居てもアトピーが発症する」とテレビ番組を見てから自分もそうなのかと心配している。



- ▶ 症状などから、アトピーとは考えにくい
- ▶ 乾燥肌ではないかと考えた

15

そもそもアトピーとは・・・

- アレルギーを伴う・・・増悪、寛解を繰り返す慢性の掻痒のある湿疹を主病変とする疾患



- 多くがアトピー素因を持つ
- 最近身体が急に痒くなる⇒アトピー素因、アレルギーは関係ない

アトピーではない!!!

16

鑑別するために確認すべき項目

- 全身性であるか
- 疾患部位の感染症があるか
- ジュクジュクした湿疹の症状が主体であるか
- かゆみの症状が特に強いのか

17

OTC薬の選択

ウレパールプラスクリーム

- かゆみを伴う乾燥性皮膚治療薬（老人・成人の乾皮症、小児の乾燥性皮膚）
- 老人・成人の乾皮症とは・・・
皮脂の分泌低下により全身の皮膚が乾燥し、うるおいがなくなり、しばしばかゆみを伴う

大鵬薬品工業株式会社



18

選択した理由

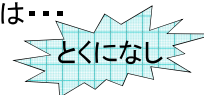
- 効果・効能にかゆみを抑えるとあるのは、ウレパールプラスクリームのみだったから（リドカインが痒みを抑えると考えられる）

商品名	配合成分
ウレパールプラスクリーム (ローション)	尿素 100mg ジフェンヒドラミン塩酸塩 10mg d-カンフル 10mg リドカイン 20mg トコフェロール酢酸エステル 3mg

19

注意すべき薬物相互作用

- 添付文書には・・・



- 「夏場、リンデロン-VG軟膏との混合に注意」という説も？

20

注意すべき副作用

- 主な副作用として、
疼痛、熱感、潮紅、そう痒感、湿疹化、亀裂、
過敏症状などが報告されている

21

生活習慣の観点からアドバイスすること

- 乾燥肌についてよく理解すること
- 内的要因
加齢に伴う保湿成分の減少
- 外的要因
入浴時の過度な洗顔や長時間入浴、過剰な
手洗いならびに水仕事
生活環境、生活習慣

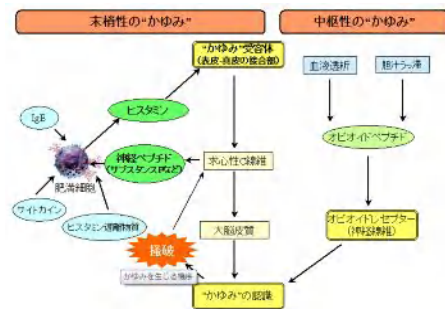
22

皮膚疾患用薬

7班

1

①痒みのメカニズム



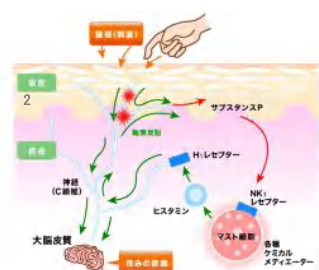
2

②-1 痒みの分類

◆ 中枢性の痒み

- 内因性のオピオイドペプチドが神経組織に存在するオピオイドレセプターに作用することにより発現すると考えられる。
- 一般的に抗ヒスタミン薬が効きにくい痒みであるといわれている。

◆ 末梢性の痒み



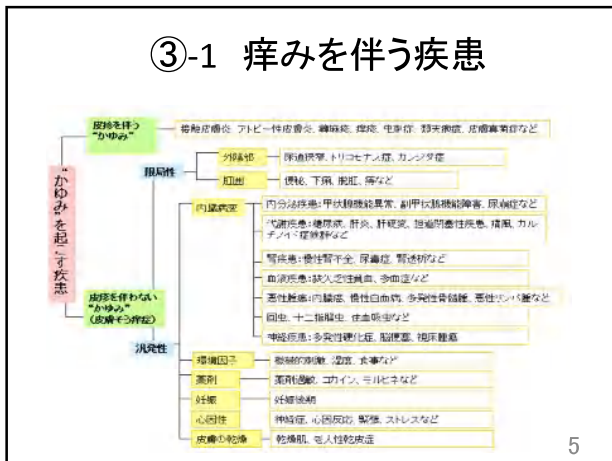
3

②-2 主な症状

皮膚の状態	発疹の種類	主な原因
皮膚の色調の変化	1) 紅斑 2) 丘疹 3) 発出性紅斑 4) 蕁麻疹 5) 血管腫	全身性アレルギー、薬疹、接触性アレルギー、日光アレルギー、シレーグリン症候群、過心臓性蕁麻疹、アレルギー性紫癜、血小板減少性紫癜病、麻疹、老人性色素斑、扁平疣、尋常性白斑、白癜症、酒斑、くも膜下出血
皮膚からの隆起	1) 丘疹 2) 結節 3) 腫瘍	皮膚性線状硬化、顔面腫瘍性慢性蕁麻疹、毛孔性苔癬、尋常性疣贅、結節型黄色瘤、高熱性血管腫、脂肪腫、有鞘脂肪腫
内容がわかる皮膚の隆起	1) 水疱 2) 膿疱 3) 小水疱	接触性皮膚炎、日光性皮膚炎、ヘルペス、疱疹、薬疹、帯状疱疹、麻疹、水痘、汗疹、汗のう腫
皮膚の欠損	1) 剥離 2) 欠損 3) 潰瘍 4) 瘻管 5) 亀裂	凍瘡、凍瘡、天疱瘡、汗疱、接触性皮膚炎、下関潰瘍、熱傷潰瘍、熱傷瘻管、凍瘡角化症、進行性指掌角皮症
皮膚からの隆起または隆起	1) 隆起(べんも)	類癌腫
発疹、目に付いた発疹	2) 隆起	硬化性熟性性苔癬、線状皮膚癌腫
真皮または皮下に膿が貯留	3) 膿疱	過剰性膿疱、膿疱性皮膚炎
	4) 膿疱	膿疱性、膿疱
	5) 膿疱	せつ、よう、特異性

4

③-1 痒みを伴う疾患



5

③-2 症状

- **接触性皮膚炎**: かゆみを伴う発疹が、原因物質の接触した部分に出現する
- **アトピー性皮膚炎**: アレルギー反応と関連し、湿疹を伴うもの
- **蕁麻疹**: アレルギー反応と関連し急性的に起こる
- **薬剤性皮膚炎**: 薬剤の使用により起こる皮膚病変
- **乾皮症**: 皮膚が乾燥しがサカサのフケ状のものが付着した状態になる皮膚疾患
- **乾燥肌**: ささまざまな要因により皮膚の水分量が減少した状態
- **汗疹**: 発汗時に小水泡や小丘疹が出現する皮膚疾患

6

④ 痒みを誘発する薬物

- 絶対薬疹を起こさない薬はない
- どの薬でも頻度は低ながらも、アレルギーを起こす人は必ずいる。



クロレラによる薬疹



グリセオフルビンによる薬疹

7

⑤ 痒み止めの分類

分類	一般名	代表的な商品名	皮膚科領域の適応疾患
化学物質(メチルベンゼン)誘発性薬疹	クロモリク酸トリウム	イオンター(錠剤:100mg)	食物アレルギーに起因するアトピー性皮膚炎
	アラニド	リザベム(カプセル:1400mg、錠剤:100mg、シロップ:100mg)	アトピー性皮膚炎
化学伝達物質拮抗薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	アトピー性皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	アトピー性皮膚炎
化学伝達物質拮抗薬(第二世代ヒスタミンH1拮抗薬)	フェキタジン	アゼチン(錠剤:1mg、シロップ:50mg)	湿疹、皮膚炎
	ルタメチン	ルタメチン(錠剤:10mg、シロップ:50mg)	湿疹、皮膚炎
抗ヒスタミン薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
抗ヒスタミン薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
抗ヒスタミン薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
抗ヒスタミン薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
抗ヒスタミン薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
抗ヒスタミン薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
抗ヒスタミン薬	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
	ヒスタミンH1拮抗薬	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎

8

⑥-1 主訴から考えられること

主訴内容

45歳 男性

最近身体が急に痒くなる。特に飲酒やお風呂上がりに痒い。強く掻き赤くなった。

「最近では大人になってもアトピーが発症する」とテレビ番組をみてから自分もそうなのかと心配している。

考えられること

アトピー性皮膚炎は40歳以上では女性に多い

→患者は45歳男性ということでもアトピーかどうか疑われるため詳しく問診が必要だと考えられる。

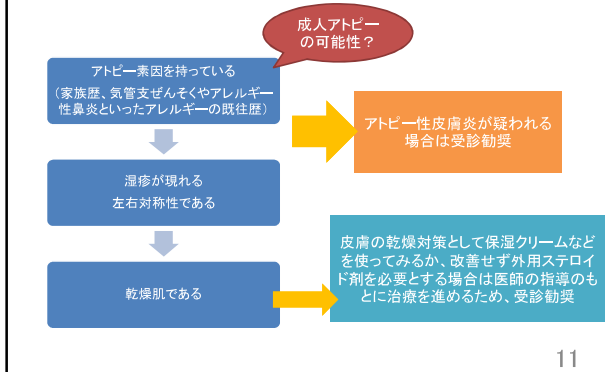
10

化学伝達物質拮抗薬(第一世代ヒスタミンH1拮抗薬)プロピルピロリジン系	ヒスタミンH1拮抗薬	ヒスタミンH1拮抗薬	適応
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎
クロレラ	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	シメチジン(錠剤:300mg、シロップ:100mg)	湿疹、皮膚炎

セリスタミンはステロイドを含まない飲み薬です。

9

⑥-2 受診勧奨を行う場合



⑥-3 受診勧奨

- アトピー性皮膚炎が疑われる
 - 激しい痛みを伴う場合
 - 掻き過ぎで患部が化膿している
 - 痒みが全身に広がる場合→慢性腎不全、肝不全、糖尿病の可能性あり
- 12

⑥-4 OTC薬を選択する場合の問診項目

- 発症部位・範囲の確認
 - 広範囲だった場合は非ステロイド剤
 - 狭い範囲ならステロイド剤または抗ヒスタミン剤を選択
 - 抗ヒスタミン薬の使用経験はないか
 - あれば、効果の程度を確認したうえで選択の参考とする
 - アレルギー歴の確認
 - 食べ物***ある場合、最近口にしたような心当たりはないか
 - 今まで使用した薬物***あった場合、その成分が含まれた製品は避ける
 - 他のアレルギー物質***接触による湿疹が考えられる場合、外用薬を検討する
 - 以前から湿疹が現れるようなことはなかったか
 - 最近になって症状が急激に変化していた場合や、頻繁に繰り返し現れるようになっていた場合は、受診勧奨の必要性を考慮に入れる
 - 湿疹によって今までに病院を受診した経験はあるか
- 13

⑦ OTC薬で注意すべき相互作用

- 外用薬で特に併用に注意を必要とする薬剤は該当しない。
- 14

⑧ 選択OTCで注意すべき副作用

- ステロイド配合
 - 【ウナコーワA】
 - 【ロコイダンクリーム】
 - 【メンソレータムメディクイッククリーム】

発疹・発赤、かゆみ、水虫・たむしなどの白癬症、にきび、化膿症状、持続的な刺激感
 - ステロイド+保湿成分配合
 - 【MOPパノアU軟膏】

発疹・発赤、かゆみ、はれ
- 15

- 非ステロイド配合
 - 【スキンセーフAPクリーム】

発疹・発赤、かゆみ、はれ、刺激感(ヒリヒリ感)、熱感、乾燥感
 - 保湿成分配合
 - 【ウレパールプラスクリーム】

かぶれ、発疹・発赤、かゆみ、刺激感(痛み、熱感、ぴりぴり感)、はれ、かさぶたの様に皮ふがはがれる
- 16

⑨生活習慣のアドバイス

主訴内容

45歳 男性

最近身体が急に痒くなる。特に**飲酒やお風呂上がり**に痒い。強掻き赤くなった。
「最近は大入ってもアトピーが発症するとテレビ番組みてから自分もそうなのかと心配している。」

・乾燥を防ぐ

年齢を重ねると、肌が潤いを保つ力が弱くなります

・飲酒、長風呂を控える

からだが温まるとかゆみが強くなります

その他

汗をかいた後のケア、かゆい部分を冷やす、他の事に集中する、
手袋や爪にやすりをかけることで肌を傷から守る、洗剤をよく落とす

17

事例検討

プレゼンテーション

便秘薬

●事例

便秘薬

35歳 3児の母

便が固くてなかなかでない。ヒマシ油を購入希望。
市販の便秘薬(ビフィーナ便秘薬)では効果がなく、曾祖母が「便秘にはヒマシ油だ」というので来局。
再就職したばかりでストレスが多く、胃が痛く、薬局で市販薬(制酸剤)を勧められ服用していた(現在は痛みはない)。
風邪をひき、咳止め(エスエスプロロン錠)も服用している。
片頭痛で市販の頭痛薬も服用中。
排便時、便器に血が付いていることもあり、過敏性腸症候群ではないかと心配している。
血圧高め。

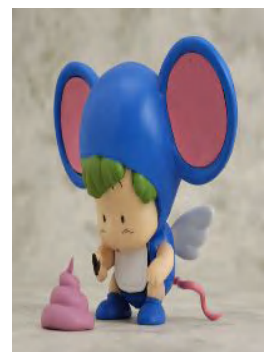


排便のメカニズム

排便には2つのシステムが関与。

①「胃・大腸反射」

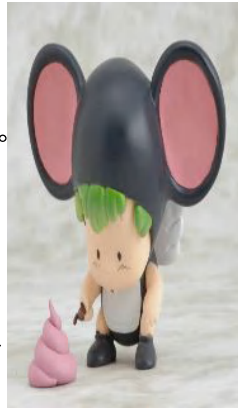
食べ物が胃に入ると、胃は大腸へシグナルを送る。すると大腸は反射的に、便を大腸に送り出す「ぜん動運動」をスタートさせる。



2

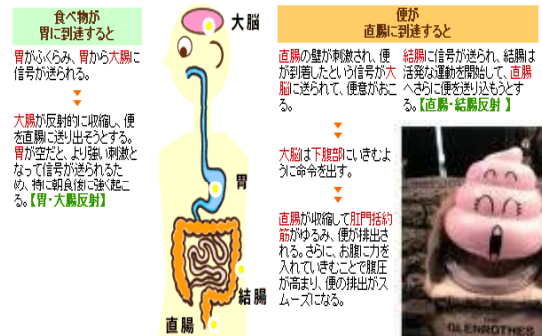
②「直腸・結腸反応」

便が結腸から直腸へ流れ始めると、骨盤神経から大脳へ「便が到着した」というシグナルが送られ、便意が起こる。このシグナルは直腸上部にも送られ、ぜん動運動をスタートする。便意が起きてトイレにスタンバイすると同時に、脳は下腹部に対して「いきむ」ように命令を出す。そしておなかに力を入れることで、肛門括約筋が緩み、便は体外に排出される。



3

自律神経が深く関与！



4

便秘とは

- ・便が大腸内に長時間とどまり、排便がスムーズに行われない状態。
- ・便の量が少ない、残便感がある、などの状態。

便秘でない人：通常1日から1日半に1回排便
便の量や回数には個人差がある
毎日便通がなくても苦痛や残便感、腹部の張りがない
→便秘ではない。
毎日便通があっても苦痛や残便感がある場合
→便秘。



5

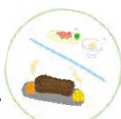
便秘の分類

- ・器質性便秘
腸に関する病気が原因で起こる
症状：吐き気・腹痛・下血(便に血が混じる)
などの症状を伴うこともある
- ・機能的便秘
排便機能の障害により起こる
 - ・一過性便秘
 - ・習慣性便秘

6

一過性便秘

旅行など環境の変化から起こる便秘。
原因：緊張やストレス、
食物繊維不足や水分不足(食事性便秘)
→原因が分かれば比較的自然的に収まる



繊維の少ない偏った食事
極端な小食

腸壁に適切な刺激が起こりにくい
→便秘になる

7

習慣性便秘

生活習慣や食生活が原因として発症する便秘

例：トイレを我慢しがち



直腸の感受性が弱まり
便意が起こりにくなる



分類：弛緩性便秘
けいれん性便秘



8

弛緩性便秘

腸がゴムひものように伸びきった状態

大腸の働きが低下
運動不足による腹筋力の低下



便を押し出す力が足りない。

症状:いつもお腹が張っていたり、
便が出た後も全部の便が
出ていない感覚がある



9

けいれん性便秘

原因:ストレスや疲労

大腸のはたらきを調節する自律神経が
バランスをくずすことで起こる。

症状:便秘と下痢を交互に起こしたり、
丸いコロコロした硬い便が出る。



10

便秘を伴う疾患

(1) 大腸がん

ガンの進行によって大腸が狭くなり、排便が困難になる。初期のガンでは無症状だが、進行すると便が細くなったり、便秘、血便が起こる。

また、強い便意があるのも特徴で、下痢と便秘を繰り返す。血便では便にこびりつくような血の塊がみられる。

11

鑑別方法

- ・弛緩性便秘
- ・残便感、腹痛、血便の有無、下痢と便秘を繰り返すかどうか
- ・家族に大腸がんになった人がいるか(3人が2世代にわたり大腸がんになっていて、そのうち1人は50歳以下で大腸がんと診断されているといわれている。)

12

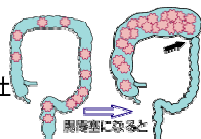
(2) 腸閉塞症(イレウス)

腫瘍や腸の動きの障害、腸のねじれなどによって、腸が詰まり、そこから先に腸の内容物が運ばれていかず詰まった状態

腸の外側に原因がある場合、腸が外側から圧迫されたり、ねじれたりする。腹部を切る開腹手術を受けたことのある患者では、腸と腹壁、腸同士の癒着が必ず起こるが、癒着の部分を中心に腸が折れ曲がったり、ねじれたり、癒着部分でほかの腸が圧迫されたりして腸が詰まる場合が最も多い。

・鑑別方法

突然の激しい激痛と、吐き気、嘔吐



13

(3) その他の疾患

疾患	鑑別のための症状
大腸憩室症	下痢、軟便、腹痛、発熱
巨大結腸症	嘔吐
卵巣腫瘍	不正性器出血、頻尿

14

骨盤腹膜炎	下腹部痛、発熱、吐き気、嘔吐、下痢
全身性強皮症	レイノー現象、皮膚が硬くなる、嚥下障害、咳、息切れ、関節痛
頸椎症	肩こり、上肢の痛み・脱力感、手指の感覚異常、歩行障害
脊髄の腫瘍	背部痛、手足の痛み・感覚鈍麻、歩行障害

15

甲状腺機能低下症	汗をかかない、寒がり、皮膚の乾燥、脱毛、顔のむくみ、かすれ声
褐色細胞腫	高血圧、頭痛、発汗過多、動悸、やせ、胸痛、視力障害
低カリウム血症	脱力感、筋力低下、吐き気、嘔吐、多尿、多飲
本態性低血圧症	倦怠感、めまい、動悸、頭痛、息切れ、肩こり、下痢

16

(4) 過敏性腸症候群

・大腸や小腸に原因となる異常が見つからないのに、便通異常と腹部症状が続く病気。英語では、Irritable Bowel Syndrome (略してIBS) という。主な症状は腹痛、腹部不快感や下痢、便秘などの便通異常です。大きく、次の2つのタイプに分けられる。

・原因

1) ストレス

身体的・精神的ストレスによって自律神経のバランスがくずれて起こる。

17

2) 腸運動機能障害

腸の動きが過剰になってけいれんし、腹痛や便通異常が起こる。

3) 内臓知覚過敏

腸にわずかな刺激が加わっても、それを過敏に「痛み」と感じてしまうために腹痛や便通異常が起こる。

4) 炎症

急性腸炎のあと、完全に治りきっていないため、腸炎と似た症状(下痢と腹痛)が起こるとする説。

18

便秘を起こしやすい薬剤

- ・抗コリン剤
- ・一部の抗ガン剤(ビンクリスチンなど)
- ・モルヒネ剤
- ・フェノチアジン系薬剤
- ・三環形抗うつ剤
- ・抗パーキンソン剤
- ・降圧剤
- ・利尿剤
- ・筋弛緩剤

19

- ・抗コリン剤・三環形抗うつ剤・モルヒネ剤・フェノチアジン系薬剤・抗パーキンソン剤・筋弛緩薬

抗コリン作用(アセチルコリンがシナプス後部の受容体と結合することを阻害してしまう作用)により、アセチルコリンによって作動している神経は正しく機能しなくなる。その結果、便秘の副作用が表れる。

- ・一部の抗ガン剤(ビンクリスチンなど)
末梢神経障害による消化管麻痺で便秘が起こる。

- ・降圧剤・利尿薬
便中の水分を奪ってしまうため、排便が低下する。

20

便秘薬の分類

うーん

機械性下剤と刺激性下剤に大きく分類される機械性下剤

- ・塩類下剤(酸化マグネシウム、水酸化マグネシウム、硫酸マグネシウム、硫酸ナトリウム)
 - ⇒腸内容物の浸透圧を高めることにより腸管内の水分が保持され、さらに腸管腔外から腸管内へ水分移行し促進し、内容物が膨潤軟化する。
- ・膨張性下剤(カルメロースナトリウム、カルメロースカリウム、プラントゴ・オバタの種子又種皮)
 - ⇒便を内部から膨張させることで腸管刺激を誘発し、排便を促す

21

- ・浸潤性下剤(ジオクチルソジウムスルホサクシネート)
 - ⇒界面活性剤であり、便の表面張力を低下させ便を軟化、膨満させる。
- ・浣腸剤(グリセリン、ソルビトール)
 - ⇒便の浸透圧を上昇させる。

刺激性下剤

- ・アントラサイクリン系(センナ、センノシド、カスカラクグラダ、ダイオウ、アロエ)
 - ⇒大腸の腸内細菌により代謝され、その代謝産物が大腸を刺激して、蠕動運動を亢進させ排便を促す

22

- ・ジフェニルメタン系(ピコスルファートナトリウム、ビスコジル)
 - ⇒ピコスルファートナトリウムは、大腸の腸内細菌により代謝されて生成されたジフェニル体が、大腸粘膜を刺激する。また大腸からの水分吸収を阻害し、便の嵩を増大する作用もある。
- ・フェノールフタレイン誘導體(フェノ)
 - ⇒小腸で溶けてフェノールフタレインとなり、大腸粘膜を刺激する

23

過敏性腸症候群との鑑別のための問診項目

問診項目	YES	NO
吐き気や嘔吐がある		
よくおなかが痛くなる		
ゲップが多い		
食欲がない		
気分の落ち込み、不眠		
人混みに出かけるのがおっくうに感じる		
人前で緊張しやすい		

24

	YES	NO
食事を減らしていないのに体重が減った		
発熱や関節痛がある		
夜中に便意や腹痛で目覚めることがある		
緊張する場面や旅行の時に、おなかの調子が悪くなる		

25

使用していた薬剤の薬物相互作用

ビフィーナ便秘薬

腸溶性皮膜
— ブロムサクトン
— センノシドカルシウム
— ビフィズス菌

ビフィズス菌 (ブチリケルコッカス)

センノシドカルシウム

プロトンポンプ阻害薬

胃酸分泌を抑制し、腸内環境を悪化させます。

ビフィズス菌は胃酸に弱く、腸内環境を悪化させます。

プロトンポンプ阻害薬

胃酸分泌を抑制し、腸内環境を悪化させます。

大腸で溶けるように腸溶性の皮膜で覆われているため、胃・腸のpHを変えないことが重要となる。そのため、牛乳で服用したり、制酸剤との服用は避ける。もしくは1時間以上間をあけること。

制酸剤との服用が便秘薬を無効化していた？

26

ヒマシ油の添付文書から

効能・効果:腸内容物の急速な排除(食あたり等)
 重要な基本的注意:小腸の消化吸収を妨げ全身の栄養状態に影響を及ぼすことがあるので連用を避ける。

禁忌:**重症硬結便のある患者**[本剤では効果が得られず、症状を悪化させる恐れがある]。
 →この患者にはヒマシ油は向いていない!

27

患者の主訴から①

①再就職したばかりでストレスが多い

便秘と下痢を繰り返したり、丸いコロコロとした便が出る?

→けいれん性便秘?

勧める下剤:酸化マグネシウム、膨張性下剤

28

患者の主訴から②

②便が硬くてなかなかでない。

便はいつも太いか?

→弛緩性便秘?

勧める下剤:酸化マグネシウム 膨張性下剤
 必要に応じて湿潤制下剤の併用

29

選択した下剤の副作用

・酸化マグネシウム…スラーリア、3Aマグネシアなど

関係部位	症状
消化器	激しい腹痛、悪心・嘔吐
循環器	立ちくらみ、 脈が速くなる
精神神経系	強い眠気 意識が薄れる
その他	息苦しい、筋力の低下、 口の渇き

30

・膨張性下剤…ウイズワン、イサゴール、サトラックスなど

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤・かゆみ
消化器	激しい腹痛、悪心・嘔吐 下痢

31

・湿潤性下剤…コーラックⅡ、ビオメットS
 カイベールアロエプラスなど

関係部位	症状
消化器	激しい腹痛 悪心・嘔吐 下痢

32

生活習慣の観点からのアドバイス

1. 規則正しい排便習慣:

とくに、朝食後は一番便意が起こりやすいため、朝食をしっかりとり、その後トイレに行く習慣を付ける。便意がなくても5分くらい排便を試みることで規則的な排便リズムが生まれる。

2. 便意をガマンしない:

ガマンを繰り返すことで、直腸の感受性が低下し排便反射が弱まるため、便秘が常習化する。

33

3. 起床時に水又は牛乳を飲む

胃・結腸反射により腸の運動が亢進する

4. 適度な運動をする

運動により血液循環が良くなり、大腸の運動が活発になる。便を押し出すために必要な腹筋を鍛えることができる。

5. 腹部のマッサージをする

臍の周囲を時計回りで行なう。大腸を刺激するため蠕動運動が促される。

6. ストレスをためない

繰り返される精神的ストレスにより自律神経の働きが乱れ、腸の機能や運動が乱れて便秘を起こしやすくなる

34

食生活におけるアドバイス

1. 1日3食規則正しい食事をする

朝、空の胃に食べ物が入ることにより、胃・結腸反射が強くなり現われるため、特に朝食を抜くことは排便反射を妨げる。



2. 水分を十分摂る

水分が不足すると便が硬くなり、排便が困難になる。

35

3. 乳酸菌を摂る

腸内細菌が停滞すると、悪玉菌が増えて腸内環境が悪くなり便秘が悪化するため、善玉菌を摂ることで腸内環境を整える。ビフィズス菌の増殖を助けるビタミンB1、B2、オリゴ糖の摂取も良い

* 乳酸菌を多く含む食品: ヨーグルト、チーズ、乳酸飲料、漬物、味噌など



36

4. 食物繊維を多く摂る

・不溶性食物繊維

⇒老廃物を取り込み、便の量を増やすことでぜん動運動を起こし、スムーズな排便を促します。

(セルロースやリグニンなど)

例: ごぼう、大豆、そば、サツマイモ、キクラゲ

・水溶性食物繊維

⇒小腸での吸収速度を緩やかにします。

腸内のコレステロールを包み込んで、排泄してくれます。

また血糖値や血圧の急な上昇を抑えます。

(ペクチンやアルギン酸など)

例: ワカメ、モズク、こんにゃく、きのこ



37

この患者さんには?

⇒この患者さんは痙攣性の便秘であることから、不溶性食物繊維は腸が刺激され便秘が悪化するため、**水溶性の食物繊維を摂るよう**に勧める



ごぼう、ブロッコリー、サツマイモは腸を刺激してしまうので、こんにゃく、ワカメ、きのこを多く摂るといいですよ

38

患者さんは**過敏性腸症候群**ではないかと心配している。

患者の状態は・・・

- ・便がかたくなかなかでない
- ・ビフィーナ便秘薬効果なし
- ・ストレス多い⇒胃が痛い
- ・制酸薬服用していた
- ・エスエスブロン錠服用中
- ・市販の偏頭痛の頭痛薬服用中
- ・排便時、便器に血
- ・血圧高め

39

過敏性腸症候群

消化管全体の運動性の障害により**腹痛、便秘あるいは下痢**が起こる状態。**食事がきっかけ**となり、しばしば速く食べすぎたり、多く食べすぎたりすることでおこる。**食後数分で痛みを伴って下痢**が起こります。この下痢は突然に始まり非常に強い便意をもたらす。ときにはコントロールできない。夜間に下痢が起こることはまれ。**便秘と下痢が交互**に起こることもある。便中には頻りに**粘液**がみられる。痛みは**持続する鈍痛**あるいは**けいれん痛**の発作として現れ、**下腹部**に起こる。**腹部膨満、ガス、吐き気、頭痛、疲労感、抑うつ、不安感、集中力の欠如**などもみられる。排便するとしばしば痛みが和らぐ。**ストレスがあると症状が悪化**。

40

ビフィーナ便秘薬

ビフィーナ便秘薬は2種類の**ビフィズス菌**と**センシドカルシウム**のチカラで便をスムーズに排出し、肌あれ、おなかのハリを緩和する便秘薬です。

- ⇒これを服用しても症状は改善しなかった
- ⇒つまり、**腸内細菌の状態が悪いわけではないのではないか**と考えられる。

41

片頭痛の頭痛薬

制酸剤

副作用に便秘

副作用に便秘はない



42

エスエスブロン錠

副作用情報の中に「次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
口のかわき、便秘、下痢」とある

- ⇒副作用の原因である**コデイン**を含んでいる

43

便器に血がついていたのは、

便が固すぎて肛門が傷ついたためではないか。



⇒**きれ痔**

44

過敏性腸症候群でない理由

この人は便が固くてなかなかでない。
過敏性腸症候群は下痢または下痢と便秘が交互に起こると
いう特徴をもつので、
このことは矛盾しているといえる。
また、服用しているエスエスプロロン錠と偏頭痛の頭痛薬の副
作用として便秘がある。
便秘については血は肛門が切れたせいだろう。

⇒したがって、

過敏性腸症候群ではないと考えられ、この人は服用してい
る薬の副作用によりひどい便秘が起こっていると考えられる。
よって受診勧奨を必要としないといえる。

45



46

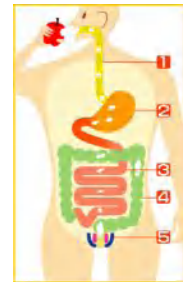
便秘薬について

8班

1

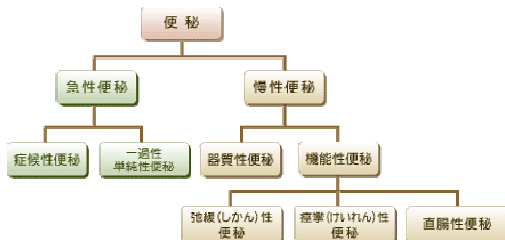
排便のメカニズム

- ①口~食道(固形物を飲み込みやすい状態にする)
- ↓
- ②胃(胃液によって、消化・吸収)
- ↓
- ③小腸(栄養分、水分を吸収)
- ↓
- ④大腸(基本運動により運ぶ)
- ↓
- ⑤肛門を経て排便



2

便秘の分類



3

一般的な症状

- おなかの症状
腹部膨満感、腹痛、食欲不振
- 肌の症状
吹き出物やシミ、肌荒れ
- 精神的症状
イライラ、不眠など
- その他
頭痛、肩こり、吐き気、口臭など



4

便秘を伴う疾患

1. 大腸ポリープ、大腸ガン、腸閉塞症などによる腸の癒着や狭窄
2. 子宮筋腫など、腸の周囲の臓器の腫瘍などによる圧迫
3. 過敏性腸症候群、自律神経失調症などによる腸神経の異常で起きる腸の運動不全



5

受診勧奨を行うべき症状

便秘に加えて次の症状があるとき

- | | |
|--------------|---------|
| ✓ 腹痛 | ✓ 月経過多 |
| ✓ 血便 | ✓ 不正出血 |
| ✓ 貧血症状 | ✓ 頻尿 |
| ✓ 痛みを伴うしこり | ✓ 腹部不快感 |
| ✓ 吐き気・嘔吐 | ✓ 食欲不振 |
| ✓ 下痢と便秘の繰り返し | ✓ 頭痛 |
| ✓ 腰痛 | ✓ 肩こり |



6

便秘を起こしやすい薬剤

- 抗コリン剤、三環系抗うつ剤、抗パーキンソン剤、モルヒネ剤、フェノチアジン系薬剤、クロルジアゼピン系薬
- 降圧剤
- 制酸剤(アルミニウム、カルシウム化合物)



7

便秘薬の分類

便秘薬は、作用の強さ、作用部位、作用の仕組みにより、分類される

- 浸透圧性下剤(塩類下剤、糖類下剤、電解質配合剤)
- 膨張性下剤
- 大腸刺激性下剤(アントラキノン系、フェノールフタレイン系)
- 浣腸、座薬剤

8

症例

- 35歳 3児の母 血圧高め
- 便が固くてなかなかでない。ヒマシ油を購入希望。市販の便秘薬(ビフィーナ便秘薬)を飲んだが効果なし。
- 再就職したばかりでストレスが多く、胃が痛く、薬局で市販薬(制酸剤)を勧められ服用していた(現在は痛みなし)。
- 風邪もひき始め咳止め(エスエスブロン錠)も服用している。片頭痛もちで市販の頭痛薬も服用中。
- 排便時、便器に血が付いていることがあり、過敏性腸症候群ではないかと心配している。

9

過敏性腸症候群IBS

- 過敏性腸症候群とは、腸に器質的な病気は存在しないのに、機能的な症状が存在する病気のことを言います。
- 症状により、便秘型・下痢型・混合型がある。
- 過敏性腸症候群は日本人では多くみられる病気で、約10%の方が過敏性腸症候群の症状を持っているとも言われています。



10

問診 (IBS診断基準より)

- 胃が痛い・便器に血が...⇒器質的疾患or痔!?



癌や潰瘍、炎症性腸疾患の診断を受けたか
⇒Yesの場合、IBSを否定する

- 6ヶ月以上前から症状があるか
- 月3日以上、腹部症状があるか
- 排便によって症状が改善するか
⇒全てNOである場合、IBSを否定する



11

なぜ、便秘を引き起こしたのか？

- ストレス(自律神経の乱れのため)
- 制酸薬の副作用(水酸化アルミニウムのため)
- 咳止め(エスエスブロン錠)の副作用(ジヒドロコデインリン酸塩のため)



12

この患者に勧めるべき薬は？

- ヒマシ油とビフィーナ便秘薬は同じ
→センナ配合の刺激性下剤
- 便器に血が付いている
→痔??
- ポラギノールM軟膏、M坐剤

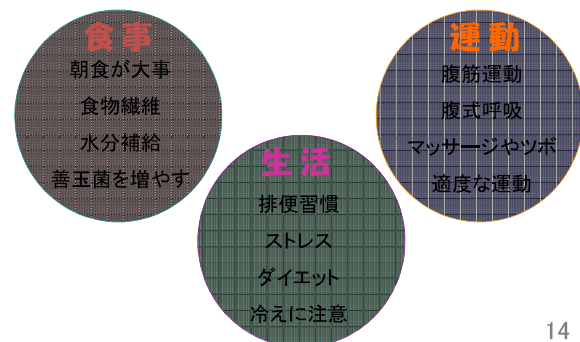
併用

- 機械的下剤(イチジク浣腸30
グリセリン100)



13

生活習慣から便秘を改善



14

参考文献

- 武田薬業医薬品 健康サイト <http://takeda-kenko.jp/>
- タケダ漢方便秘薬 <http://kanpobenpi.jp/>
- 国立がん研究センター <http://ganjoho.ncc.go.jp>
- 日本ダルム株式会社
<http://www.darm.co.jp/index.htm>
- 便秘事典 <http://1word.jp/benpi/index.htm>
- 便秘の原因
<http://www.geocities.jp/bekachan39498nin/index.html>
- 万有製薬
<http://www.msdc.com/nm/jp/>



15